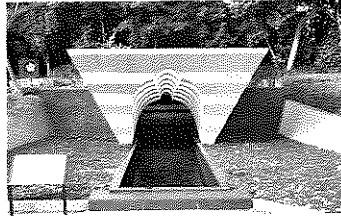
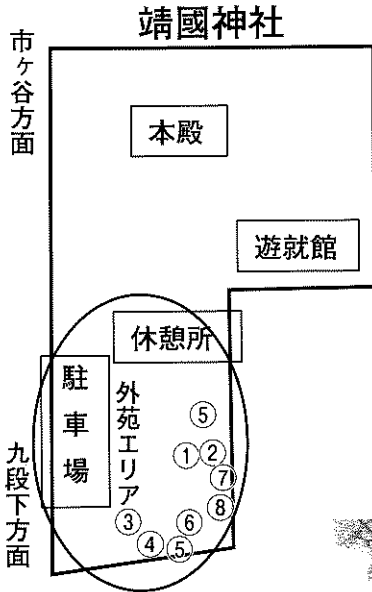


靖國境内散歩（外苑エリア編）

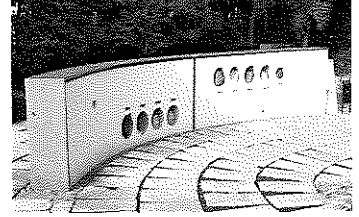
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和3年が明けましたが、初詣はお済みでしょうか？ 靖國神社に行かれた際は、外苑（九段下入口から外苑休憩所）エリアの散歩をお楽しみ下さい。外苑エリアにある主要な施設等を紹介します。



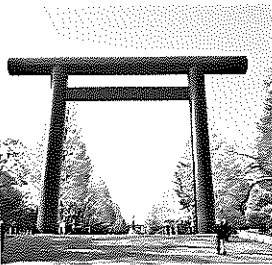
①「慰霊の泉」

過酷な戦場で「お母さん！水を…」と言いながら息を引き取った兵士たちを偲び、昭和42年に建立されました。母の体内から清く豊かな水が湧き出る様子をイメージした作品です。



②「戦跡の石」

国の遺骨収集事業は現在なお続けられています。激戦地の遺骨収集が甚だ困難であれば、せめて戦場の石でも…というご遺族の思いを受け、激戦地の石25個が展示されています。



③「第一鳥居」

大正10年に建てられたものは、腐食が進み昭和18年に撤去。昭和50年に新たに奉納されました。高さは25m、風速80m/sに耐えられ、耐用年数は1200年です。



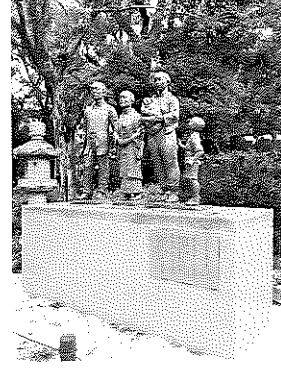
④「靖國神社社号碑」

明治27年に建てられた当時は「別格官幣靖國神社」と刻まれていましたが、昭和20年の宗教法人令により社格が廃止されましたので、靖の上の4文字を切り離し、現在の形になりました。



⑤「さくら陶板」

令和元年の靖國神社御創建150周年事業の一環として設置されたもので、外苑北側慰霊の庭に全国47都道府県の名陶工が地元の土を使用して製作されたものです。



⑥「出征を見送る家族の像」

昨年10月に建立された最も新しい像です。凛とした姿の中に、出征する兵士の無事の帰還を祈る愛慕の情が伝わってくる感動的な作品です。

外苑エリアには、九段下入口の花崗石大燈籠、各種狛犬、左右に列をなす62基の石燈籠、靖國の時計塔、大村益次郎像、駐車場入り口の石の大鳥居、国旗掲揚塔、右写真の⑦「田中支隊忠魂碑」、さらに右の写真の⑧「常陸丸殉難記念碑」など、由緒ある建造物が多数あります。

